



STOP！転倒災害

ご存じですか？一般生活においてスリップ、つまづき及びよろめきによる同一平面上での転倒で死亡者が年間4000人を超えていることを。たかが転倒と軽く見てはいけません。労働災害においても転倒災害が事故の形別ワースト1となっています。

～あせらない 急ぐ時ほど落ち着いて～

陸運業の現場ではこのような転倒災害が起きています

災害発生事例 1	災害発生事例 2	災害発生事例 3
倉庫内に荷物を搬入中、倉庫出入口に置いてあったパレットに気が付かず、足を取られて転倒した。	トラックからの荷卸し作業中、荷台から飛び降りた際に、足をひねり転倒し手をついた。	トラック荷台を片付けていたところ、台木につまずいて転倒。荷台にあるチェーンブロックに足を引っかけて負傷した。
足首の骨折	手首の骨折	足の骨折

こんなところにも転倒の危険が！



ここが肝心！

4S（整理・整頓・清掃・清潔）を徹底しましょ

本来そこに無いはずの障害物によって災害が起こった場合、これは人災と言っても過言ではありません。4Sを徹底し、障害物に人が触れることがない安全な職場作りを心掛けましょう。

ここが肝心！

長時間運転した後はストレッチを行いましょ

長時間の運転後は、股関節の機能が低下することにより、運転席から降りる際や、降りた後に転倒するリスクが高まります。また、加齢とともに股関節が固くなったり、周囲の筋力が低下し、バランスを崩しやすくなります。長時間運転した後は、ゆっくり降り、ストレッチをしてから動きましょう。